

付録 1 プロダクトバックログのテンプレート例

<p>ユーザー ストーリー</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 背景 レビュー記録に, 社内で一般的な集計の切り口が不足しているため, 利用者によるカスタマイズが必要な状況. XXX レポートを出すために必要な切り口が不足している. ● 価値 利用者はカスタマイズの手間が省けて嬉しい. XXX レポートシステムでサブシステム別, チーム別集計ができるようになる
<p>対応内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 「XXX」ファイルに以下の項目を追加 サブシステム名 チーム名 ドキュメント種別 ● 項目「ドキュメント種別」は以下の選択肢からリストで選択できるようにする (複数選択は不可) (項目は, 社内一般に品質評価報告の対象となる項目) 要件定義書 基本設計書.....
<p>デモシナ リオ</p>	<p>① レビュー記録の「XXX」タブで以下の項目をリスト選択する サブシステム名 (中央揃え) チーム名 (中央揃え)</p> <p>② 2. 同タブで, ドキュメント種別をリスト選択する リストの内容は以下の内容をデフォルト設定してある 要件定義書 基本設計書</p> <p>③ 3. 「設定値」シートの区分値を持つ項目について, 区分コードの取得方法を理解できる.</p>
<p>受入条件</p>	<p>AC-1 「XXX」タブで3項目を選択できる AC-2 追加された3項目は中央揃えで表示される AC-3 追加された項目「サブシステム名」では, 以下の内容をリスト選択できる AC-4 追加された項目「チーム名」では, 以下の内容をリスト選択できる AC-5 追加された項目「ドキュメント種別」では, 以下の内容をリスト選択できる 要件定義書 基本設計書</p>
<p>ストーリ ーポイン ト</p>	<p>2</p>

付録 2 評価コメント

<p>プロダクトオーナーのコメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 仕様を FIX して作業するという当たり前と言えは当たり前のことがスクラム開発においても重要であると感じた. 今後も継続したい. ● 施策適用前のスプリントレビューで大きく手戻りのあったストーリーについても, 本施策適用後であれば品質を確保できたのではと感じている. ● デモシナリオにより, レビューで確認しやすかった. ● 未成熟なチームにとってはデモシナリオの価値は高いと感じた. 一方で, 全てのプロダクトバックログにこのフォーマットを採用するのは, 負荷が高いと感じた. プロダクトオーナーと開発チームの暗黙知が増え, ストーリーの背景, 価値, ユーザーの理解が十分に進めば, 簡略化できるのではないか.
<p>開発チームのコメント</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 当初は, バックログの難易度が低いこともあり, 時間をかけてプロダクトバックログリファインメントを実施する負荷の方が得られる効果よりも高いと想定していた. しかし, 実際にやってみるとプロダクトオーナーと現物を見ながらコミュニケーションを取ることで, 双方に考慮漏れ等に気付くことが多く, 品質確保に効果があった. ● 事前にプロダクトオーナーと細かい要件, 仕様の認識を合わせることで, スプリント期間中にプロダクトオーナーに確認, 質問する回数が減り, 実装作業に集中できた. ● デモシナリオがあることで, プロダクトオーナーとストーリーのゴールを共有することができた.